

- 問1 東北地方の地図において、奥羽山脈の西側（日本海側）から青森県にかけての広い範囲が共通の気候区分として示されることがあります。この地域の冬の気候メカニズムと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
- 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。
 - 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。
 - 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかって雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。
 - 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。
- 問2 日本の広域地方区分において、東北地方の地理的特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 長野県公立入試 類似）
- 福島県は東北地方の中央部に位置しており、太平洋側と日本海側の交通の要所となっている。
 - 福島県は東北地方の西端に位置しており、北陸地方から新幹線が直接乗り入れている。
 - 福島県は東北地方の北端に位置しており、北海道との物流において重要な役割を果たしている。
 - 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方から新幹線などで北上する際の起点となる。
- 問3 秋田県の伝統文化や観光資源に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。（2016年 三重県公立入試 類似）
- 竿燈まつりでは、七夕の時期に合わせて豪華な七夕飾りを吊るした竹竿を街中で振り回す。
 - 秋田県内で伝統的に受け継がれてきた武家屋敷の景観は、主に奥州藤原氏の時代に築かれたものである。
 - 角館の武家屋敷は、明治時代の文明開化によって急速に整備された洋風の建築物群として知られている。
 - 国の重要無形民俗文化財に指定されている竿燈まつりは、五穀豊穡を願う行事としての側面を持っている。
- 問4 東北地方の太平洋沿岸部では、夏季にオホーツク海高気圧から「冷たく湿った北東の風」が吹き込むことで、気温が上がらず農作物の生育に悪影響を及ぼすことがあります。この風の名称として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- からっ風
 - フェーン現象
 - 季節風（北西の風）
 - やませ
- 問5 日本の都道府県における年齢別人口構成の変化について述べた文として、正しいものを1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 2020年時点では東京都などの大都市の方が、青森県などの地方県よりも高齢化率が高くなっている。
 - 2020年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高くなっている。
 - 1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも65歳以上人口の割合が高かった。
 - 1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高かった。
- 問6 1993年や2003年の統計において、岩手県の米の作況指数（平年を100とした収穫量の割合）が30や73といった非常に低い値を示し、全国平均や西日本の山口県を大きく下回る深刻な不作となった主な要因は何ですか。（2025年 山口県公立入試 類似）
- 台風の直撃による風水害
 - フェーン現象による高温障害
 - やませによる冷害
 - 冬の季節風による大雪害
- 問7 本州の最北端に位置する県の産業について、ある統計資料では次のような数値が示されています。延べ宿泊者数が約2万4千、米の産出額が666億円であるのに対し、製造品出荷額等が約11兆円という非常に高い数値を示している県はどこですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）
- 山形県
 - 岩手県
 - 青森県
 - 千葉県
- 問8 東北地方の地方中枢都市として機能し、周囲の自治体から通勤・通学者が多く流入するために昼間人口割合が100%を超えている一方、大規模な重化学工業地域を持たないため工業製造品出荷額が比較的小さい政令指定都市はどこですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 堺市
 - 広島市
 - 仙台市
 - 京都市
- 問9 青森県と秋田県にまたがり、世界最大級の原生的なブナの天然林が分布していることから、1993年に世界自然遺産に登録された山地はどれか。（2024年 青森県公立入試 類似）
- 白神山
 - 奥羽山脈
 - 北上高地
 - 知床
- 問10 宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。
 - 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。
 - かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。
 - 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。
- 問11 東北地方の太平洋側に位置する宮城県の中心都市について、その都市の機能的な特徴と行事の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。（2021年 千葉県公立入試 類似）
- 国の出先機関や企業の支店が集中する地方中枢都市であり、夏には七夕まつりが行われる。
 - 北東北の交通の要所となる中心都市であり、夏にはさんさ踊りが行われる。
 - 日本海側に位置する県庁所在地であり、夏には竿燈まつりが行われる。
 - 内陸の盆地に位置する県庁所在地であり、夏には花笠まつりが行われる。
- 問12 東北地方の各県の特徴について述べた次の説明のうち、県名と県庁所在地の名称が異なる県に関する記述として適切なものはどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）
- 本州で最も広い面積を持つ県の県庁所在地は盛岡市であり、北上盆地を中心に農作物の栽培が行われている。
 - 東北地方の6県は、すべて県名と県庁所在地の名称が一致しており、行政上の混乱を防いでいる。
 - サクラランボの生産量が全国1位である県の県庁所在地は山形市であり、県名と都市名が異なっている。
 - 東北地方で最も人口が多い県の県庁所在地は宮城市であり、周辺の平野部では稲作が盛んである。
- 問13 東北地方に位置する宮城県と岩手県の産業や特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
- 宮城県は東北地方の日本海側に位置して最上川の稲作が盛んであり、岩手県は日本地図で宮城県の南側に隣接している。
 - 宮城県はリンゴの生産量が全国第1位であり、岩手県は県庁所在地の秋田市を中心に「あきたこまち」の生産が行われている。
 - 宮城県は南部鉄器の生産が伝統的に盛んであり、岩手県は仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などのブランド米の栽培が集中している。
 - 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。